

報道関係者各位

地域の子どもたちに命を救う方法を講習 大津市の小学校で PUSH プロジェクト実施

リアルな救命学習で子どもたちの勇気を「PUSH」！

前触れもなく心臓が止まる突然死。日本では毎年約7万人が命を落としています。洛和会音羽病院(京都市山科区)では「PUSH プロジェクト※」に賛同し、心肺蘇生の中で最も重要な胸骨圧迫(心臓マッサージ)と AED(自動体外式除細動器)の使い方を地域に広く周知し、救命率を上げるため、地域の教育機関へ出張研修を行っています。今回は大津市立青山小学校で救命救急士2名が5年生に「救える命を救う方法」を講習します。

※PUSH プロジェクト…NPO 法人大阪ライフサポート協会から発足した、胸骨圧迫・AEDの普及を通じて、突然倒れた人を救命できる地域を目指す取り組み。全国的に広まっている。

内容

① 胸骨圧迫

押すと音がる模型器で、正しい圧迫を学ぶ

② AED 使用方法

練習器で装着位置まで確認

③ 救命活動シミュレーション

人が倒れてから胸骨圧迫・AEDを開始するまでの一連の流れを実演



※写真は他校で実施した様子

【実施概要】

実施日：2020年11月4日(水) 午前9時30分～午後12時10分

場 所：大津市立青山小学校 ※今回は新型コロナウイルス感染症対策として校長室で実施し、校長室での実施を ZOOM で各教室につなぎます。

人 数：救命救急士2人、5年生6クラス197名

【洛和会ヘルスケアシステム】

代表者：理事長 矢野一郎

所在地：京都市山科区音羽八ノ坪 51-4

設立：1950(昭和25)年

URL：http://www.rakuwa.or.jp/

主な事業：医療、介護、健康、保育、教育、研究

【本件に関するお問い合わせ先】

洛和会ヘルスケアシステム

企画広報 アローフィールド

担当：岩井

TEL：075-594-8488

FAX：075-501-4583

e-mail：kouhou@rakuwa.or.jp